

認証取得に半額助成

江戸川区がトラック事業者へ

東京・江戸川区(多田正見区長)は、2011年度新規事業で東京都トラック協会江戸支部(若林政明支部長)会員事業者の「グリーン経営認証取得制度」(交通エコロジ・モビリティ財団)の新規申請認証・登録に必要な経費の2分の1を助成する。

東ト協江戸川支部を通じて

グリーン経営認証取得証を今年8月1日以降、新規に取得するために要した審査費用・登録費用が対象。交通費・宿泊費は除いた半額を助成。東ト協本部では、グリーン経営認証取得の助成を「グリーン・エコプロジェクト」参加者限定で5万円補助しているが、

江戸川区は東ト協本部の助成を受けた場合はその分を除く、残りの2分の1を助成する。交通エコノミ財団の「認証料金の事例」によると、申請が1事業所で現地1カ所を審査した場合(登録1カ所)、15万5000円(審査料金8万5000円+登録料金7万

円)。東ト協本部助成の5万円を差し引き10万5000円、これに江戸川区の補助率を乗じて料金が半額の5万2000円(10000円未満切り捨て)で済む。

江戸川区では、区民挙げて温室効果ガス削減による「日本一のエコタウン」を目指しており、東ト協江戸川支部では、区の英断を喜んでい

若林支部長は「江戸川区の連送事業者として、環境に貢献できる優良事業者を支部から輩出した」と意欲を語っている。

また、交通エコノミ財団交通環境部の谷口安男担当課長は、「自治体としてグリーン経営認証取得を推進・普及していただくのは非常にありがたい。

今後とも協力をお願いしたい」と話している。

現在、グリーン経営認証の助成制度を実施しているのは、全国の自治体で江戸川区を含め4自治体。都道府県のトラック協会では全47協会中、32協会が実施している。

多田区長



若林支部長

